

英語科学習指導案

日 時：平成18年11月9日(木)
学 級：洋野町立角浜中学校 2学年
(男子14名、女子5名、計19名)
授業者：高橋 敦

1 単元名 Unit 5 A Park or a Parking Area? (NEW HORIZON English Course Book 2)

2 単元について

(1) 教材観

本単元では、言語材料として、接続詞 (if, that, when, because) を用いて表現する学習が中心となる。これらの接続詞を学習することによって、より長い英文になり、深まった表現が可能になる。コミュニケーション活動を通して、様々な接続詞を用いることで、自分の考えなどをより豊かに表現できることを感じ取らせたい。

また、複文・重文の指導を通して、既習の英文を活用しながら主語・述語の順番など英文の構造について意識して指導できると思われる。

内容としては、駐輪場建設をめぐる話題が取り上げられており、この問題は身近に迫りつつある社会問題である。本題材は、このような身近な問題に目を向ける態度を養ったり、問題についての賛否の論点を整理したり、課題を解決しようとする態度を養っていくのにも適した題材である。

(2) 生徒観

全体的に明るい雰囲気、男女の別なくお互いに何でも言いあえる。授業での発言等はあまり積極的とは言えないが、多くの生徒は意欲的に取り組んでいる。

英語の学習では、上位と下位の差が大きく開きつつあり、どこに焦点をあてて授業を進めるかが難しくなっている。まず、基本文や教科書をしっかり読めるように、音読の練習に時間をかけて指導している。

平成17年度学習定着度状況調査の結果では、「書くこと」の正答率が久慈地区は39%となっており十分な状況にあるとは言えない。小問別に見た場合、語順整序、和文英訳、自由英作文の問題の正答率が低い。また、この学年の昨年度のCRTの結果を見ても、「書くこと」の正答率は全国比82であり、特に伝えたい内容を考え正しく書く領域が低いことから、基本文や語彙、英語の語順の定着に課題があること、自己表現を苦手としている生徒が多いということが言える。

各単元の基本文や重要語句の定着を図るとともに、既習事項の復習にも段階的に取り組んでいかなければならない。自分の意見や考えを適切に表現する場を定期的に、繰り返し設定することが必要である。

(3) 指導観

学習指導要領では「実際に言語を使用して互いの気持ちや考えを伝え合うなどのコミュニケーションを図る活動を行うとともに、言語材料について理解したり練習したりする活動を行うようにすること」として、実際に言語を使用してコミュニケーションを図る活動と言語材料についての理解や練習を行う活動のバランスに配慮しつつ指導することの必要性が述べられている。

英語科の目標の最重要項目である実践的コミュニケーション能力を育成するためには、基礎・基本の確実な定着が不可欠であることから、十分な理解や定着のための活動を行い、生徒の達成状況を適切に把握しながら、表現活動へとつなげていきたい。併せて、既習事項を計画的に復習できるよう、単位時間内の繰り返しだけでなく、単元及び複数単元毎に指導できるよう工夫していきたい。

また、生徒が主体的に自己表現活動に取り組むことができるよう、言語の使用場面を大切にしながら、生徒が表現したいと感じるような場面設定を行い、適切に評価を与え、繰り返し指導することによって、生徒の表現力を高めていきたい。

本単元では、自分の意見を言う表現" I think ~.", 理由を述べる表現" Because ~, ..."などを習うので、自分の考えを深めたり情報を伝えたりすることを通して、自己表現や友達と情報交換することの喜びを味わわせ、コミュニケーションへの関心・意欲を高めていきたい。

3 指導計画 (Unit 5 全11時間)

- ・ Starting Out (接続詞 if の用法 ~ 本文 P 5 0) . . . 2 時間
- ・ Dialog (接続詞 that の用法 ~ 本文 P 5 1) . . . 2 時間 (本時 1 / 2)
- ・ Reading for Communication (接続詞 when の用法 ~ 本文 P 5 2) . . . 2 時間
- ・ " (接続詞 because の用法 ~ 本文 P 5 3) . . . 2 時間
- ・ Listening Plus 5 「テレビ番組」 . . . 1 時間
- ・ Speaking Plus 3 「病院で」 . . . 1 時間
- ・ まとめと復習 (単元のまとめ、ワークなど) . . . 1 時間

4 本時の指導について

(1) 主題 「私は～と思う」と、自分の考えを表現しよう

(2) 指導目標

【表現の能力】

- ・ I think ~. の文を使って、自分の考えを言ったり書いたりすることができる。

【理解の能力】

- ・ I think ~. の文を聞いたり読んだりして、意味や内容を理解することができる。

【言語や文化に対する知識・理解】

- ・ 日本語との語順の違いを理解し、正しい英文を書くことができる。

(3) 指導の構想

Warm Up で既習の表現を確認するとともに、本時の題材を導入する。

パターン練習をする時間を十分に確保し、自信を持って表現できるようにする。

表現に困っている生徒には綿密に指導し、学習意欲を高めるとともに、すべての生徒が積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てていきたい。

評価は特に【表現の能力】に焦点をあてて指導する。

(4) 評価規準表

評価目標	評価場面 (方法)	具体の評価規準		
		十分満足できる：A	おおむね満足できる：B	努力を要する生徒への支援
【表現の能力】 I think ~. の文を使って、自分の考えを表現できる。	対話練習の場面 (観察・プリント)	発音等に注意しながら、正確に自然な速さで言える。	目標文を口頭でスムーズに言える。	何度も繰り返し練習して発音に慣れさせる。
【理解の能力】 I think ~. の文の意味や内容を理解できる。	練習問題に取り組み場面 (プリント)	内容を正しく理解し、より多くの情報を得られる。	英文を聞いてその内容を正しく理解できる。	既習の文との違いに注目させ、目標文の意味を考えさせる。
【言語や文化についての知識・理解】 日本語との語順の違いを理解し、正しい英文を書ける。	練習問題や確認テストに取り組む場面 (プリント)	板書等をほとんど参考にしなくても正しく書くことができる。	板書等を参考にしながら英文を書くことができる。	板書のどこを参考にすればよいか具体的に示唆する。

(5) 指導過程

段階	学習内容	学習活動	評価・指導上の留意点 (= 評価の観点)
導入 10分	1 あいさつ 2 Warm Up 3 新出文型の導入	教科書の音読 既習の基本文の口頭練習 (Q & A ・ 和文英訳) ・ 口頭で新出文型を導入する I think (English is important). I don't think (English is important).	・ 集中して音読させる ・ 英語の授業の雰囲気作り ・ 生徒が身近に感じる内容について取り上げる ・ 言語の使用場面を意識させる ・ 生徒との Interaction により目標文を導入する
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 【学習課題】 「私は～と思う」と、自分の考えを言えるようになるう </div>			
展開 35分	4 基本文の確認 5 基本文の練習 6 表現活動	・ 提示した英文について、説明する。 口頭練習 ・ パターン・プラクティス ・ 自分の考え(立場)で発表させる プリントでパターン練習 (和訳・適語補充・語順) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;"> インタビューをしよう 「今、学校に必要なものは？」 </div> 自分の考えを書く I think (we need a new piano). ペアを組んで対話をさせる A:I think (we need a new piano). What do you think? B:I think so, too. / I don't think so. 対話を発表させる	・ 板書 ・ 日本語と英語の語順の違いに気づかせる ・ 全体 個 全体 口頭でスムーズに言えるか 【表現】(観察) ・ 机間巡視をし個々に支援する 英文の内容を正しく理解しているか【理解】(プリント) ・ 思いつかない生徒のためにいくつか例を示す ・ 知らない単語(表現)については日本語でも可とする 内容を正しく理解して、活動しているか【理解、表現】(観察、発表)
終結 5分	7 補足説明 8 課題の確認 9 あいさつ	・ 接続詞 that を説明する ・ 確認テスト(回収) (宿題の指示)	・ that は省略されることが多いことに触れる 日本語との語順の違いを理解しているか【理解】(プリント)

Unit 5 練習プリント(2)

NAME _____

目標 < _____ と、自分の考えを言おう >

基本文

(意味 _____)

(意味 _____)

Step 1 意味を書こう。

(1) I think soccer is interesting.

(_____)

(2) I don't think he can play the piano.

(_____)

Step 2 () に適する語を書こう。

(3) 私は、吉池先生はスポーツが好きだと思う。

(_____) (_____) Mr. Yoshiike likes sports.

(4) 私は、サッカーは日本で人気があると思う。

I (_____) (_____) (_____) popular in Japan.

Step 3 () の語を正しく並べかえよう。

(5) 私は、由美は寝ていると思う。

(Yumi / think / is / I / sleeping / .)

(_____)

(6) 私は、(私たちは) 学校で新しいピアノが必要だと思う。 * 必要だ = need

(need / think / I / we / a new piano) at school.

(_____) at school.

Step 4 インタビューをしよう。「今、_____は？」

(1) 自分の意見を英語で書こう。(think を使って)

_____ *わからないものはローマ字でもよい

(2) 自分の意見をもとに、インタビューをしよう。

A : I think (_____) at school.

What do you think?

B : I think so, too. () / I don't think so. (×)

	NAME	or ×		NAME	or ×
前の人			右の人		
後30人			左の人		

*いない時はななめの人に

(3) 結果を英語でまとめよう。

(例) Hideki thinks we need a new piano.

(4) 宿題：ノートにきょうの基本文の意味を書き、基本文を5回書いて覚えよう。

< 確認テスト > Unit 5 (2) NAME _____

次の英語は日本語に、日本語は英語になおしなさい。

(1) I think we need a new piano at school.

(2) 私は、英語は重要だ(important)と思う。

< 自己評価 >

(1) I think ~ の文の意味がわかった。 【 A B C D 】

(2) I think ~ を使って自分の考えを言えた。 【 A B C D 】

(3) 授業に集中して取り組んだ。 【 A B C D 】